

校長通信③

高等部年度末感謝セール

昨年度から再開した高等部作業班の年度末感謝セール。久しぶりの一般公開でした。今年度は松尾勤労者体育センターを会場にして実施しました。10時30分の販売開始前から並んでいただき、体育館内はたくさんのお客様でにぎわいました。生徒たちもお客様に製品の説明をしたり、自分たちの作業班への呼び込みをしたりと活気のある販売会になりました。購入していただいたお客様からは、「丈夫そうな椅子で座った感じもよかった」と感想をいただきました。



高等部の生徒にとって作業学習は、もっとも時間をかけて学習している授業であり、はじめは一人でできなかったことも毎日毎日の繰り返しのなかで技術も向上し、製品づくりに対するこだわりも出てくる生徒もいます。同じ作業を繰り返しながら確かな技術を習得していくことは、本校の生徒の得意とするところでもあります。そういった一人一人のこだわりが詰まった製品を販売し、お客様からも感想をお聞きできるこのような機会は、生徒にとっても次の製品づくりの意欲にもつながります。上の写真は、陶芸班の生徒が作ったお皿ですが、できるだけ薄くて丈夫な製品にしようと試行錯誤を繰り返したそうで、持った時に軽いけれどしっかりできているのが伝わってきました。

コロナ禍で途絶えていた年度末感謝セールという作業学習の目玉の取組が復活し、今後は地域の定例行事として定着していくことを期待しています。

販売においでいただいた皆様、ありがとうございました。来年度も作業班の販売活動を楽しみにしてください。

